



河内にお住いの
大村 和孝さん・葉さんの

長男 **和功 くん** (1歳4か月)

パパの転勤で1年半、下田で過ごさせていただきましたが、この度、三島に引っ越すことになったので、この場を借りてお世話になった方へ感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。支援センターで仲良くしてくれたお友達、旬の里の皆さま、お散歩途中にお声をかけてくださった方々、本当にありがとうございました。皆さまのおかげで、下田で楽しく過ごすことができました。

みなさんのお宅のアイドルを募集しております。市役所へどしどしお寄せください！

防災かわら版

防災補助制度・実績を紹介します

問合せ先 防災安全課防災係

(窓口⑩) ☎ 4145



補助制度の案内

市では、令和3年度も引き続き、家庭での防災対策を促進するため、各種補助制度を用意しています。

新型コロナウイルス感染症などの感染症流行下では、避難所での「密」や感染を防ぐ必要があります。補助制度を活用して、家具固定などによる家庭内防災対策を実施し、自宅や知人・親戚宅などがハザードマップで安全な場所にある場合は、自宅などでの在宅避難も検討しましょう。

※各種補助事業は予算がなくなり次第終了します。

※補助金交付には、**補助条件**や事業実施（購入）前の**事前申請**が必要な場合があります。詳しくは、防災安全課までお問い合わせください。

家庭内家具等固定促進事業費補助金

たんす・食器棚・本棚等の家具や冷蔵庫・テレビ等の電化製品などへの転倒防止器具の購入と取付に要する経費の2分の1以内の額（各上限1万円）を補助します。



救命胴衣等購入費補助金

防災用ヘルメットや救命胴衣を購入する場合、購入費（各上限2千円）を補助します。

感震ブレイカー整備事業補助金

感震ブレイカーの設置に要する経費の3分の2以内の額（上限5万円）を補助します。

※感震ブレイカーとは、一定規模以上の揺れを感知すると、自動的に電気の供給を遮断し、電気出火を防ぐ装置です。

令和2年度事業の紹介

同報無線のデジタル化

災害時などに使用する同時通報用無線のデジタル化に伴い、市内約120か所の無線柱の建替工事を行いました。

また、市内の希望者に対し、戸別受信機を貸与しました。感染症対策用品の整備

避難所での新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、パーテーションや簡易ベッド・マスク・消毒液などを購入しました。

また、白浜小学校に防災倉庫を整備しました。

ハザードマップの配布

津波ハザードマップ（全域図、地域図）と、津波避難計画地図を各1万4千部作成し、配布しました。また、土砂災害・洪水ハザードマップも7地区、計1万4千部作成し、配布しました。

災害用備蓄品の購入

大規模災害等に備え、備蓄用の食料や飲料水、汚物処理用品（汚物処理セット・汚物圧縮袋）などを整備しました。

各家庭においても、平時から備蓄食料や飲料水などを準備しておくようお願いいたします。

伊豆縦貫自動車道を早期完成しよう！！

「伊豆縦貫自動車道ロゴマーク」を利用して、伊豆縦貫自動車道の整備促進と活性化を県内外にPRしましょう！！ご利用方法については、以下の市ホームページをご覧ください。

■ 下田市ホームページ <https://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>

